

しおさい通信

No. 4 1

平成27年11月号

多機能型事業所しおさい
(就労継続支援B型・就労移行支援)

三崎：銚子市三崎町3-82 TEL：0479-23-9012

春日：銚子市春日町2058-1 TEL：0479-25-3475

HP：http://npo-new.org/



水産まつり 出店

10月11日(日)、銚子漁港第三卸売市場を会場にして、銚子水産まつり(きんめだいまつり同時開催)が行われ、しおさいも出店しました。

開始時は雨が降るあいにくに天気でしたが、新鮮な魚介類が手に入るとあって、多くの市民などが来場しました。

職員が深夜から心を込めて製造したパンを、開始に合わせて会場に搬入し、午前9時30分から三崎メンバーと職員が販売しました。

今回は約500個のパンの他に、今後の事業展開の参考にする為、試験的に用意した焼きおにぎりとおにぎり弁当も販売しました。

購入して下さい皆さんのお陰によりまして、パン類及び弁当は、わずか1時間半強で完売してしまいました。ありがとうございました。



▲販売中の三崎メンバー



▲後方部隊も大忙し!



▲おにぎり弁当



▲お買い上げありがとうございます▼

チーバ君もしおさいを応援してくれました →



黄色いレシートキャンペーン贈呈式

10月11日(日)、イオンモール銚子において、贈呈式が行われました。

今回は、17,400円分のギフトカードを頂き、パンラベル印刷用プリンターのインクカートリッジや事務用品を購入させて頂きました。



パセリの植え付け

10月15日(木)、田村さんと、銚子特別支援学校から2週間の実習に来ていた高等部3年のN・Aさんが、三崎の建物西側に、パセリの苗10本を植えました。成長したらたまごドックの添えものなどとして使用します。



秋のメンバー交流会

10月3日(土)、秋のメンバー交流会が行われ、筑波山登山とバーベキュー・果物狩り(柿狩り)を楽しみました。

筑波山中腹に到着した一行は、ケーブルカーで御幸ヶ原に移動し、一帯を散策したり、頂上の女体山(によたいさん・877m)に登ったりしました。その後、ロープウェイでつつじヶ丘に降り、かすみがうら市にある福田グリーン農園へ行き、バーベキューと柿狩りをして秋の一日を楽しみました。



▲筑波山でみんなと一緒に



▲ロープウェイの駅で…



▲バーベキュー堪能中①



▲バーベキュー堪能中②



▲もぎたての柿はおいしいなあ▲



9月27日(日)、銚子市保健福祉センターすこやかなまなびの城で開催された「こころの健康のつどい」の第2部・体験発表のうち、もう一人のしおさい通所者の発表概要【テーマ・こころの病気とつきあいながら、こんな工夫で暮らしています】を掲載します。

■ S・Tさん(しおさい通所者)

私が自分自身と向き合うようになったのは約6年前、引っ越しがあった時だ。最初の診断名は適応障害で、仕事中に突然涙が止まらなくなった。後日、うつ病と改めたので、すんなりと受け止めたのを覚えている。仕事は先程の診断の結果、辞めたのでいきなり収入が無くなった。父も病気で不安定だったので、気付いたらずっと生活保護を受給しての生活だ。しかし、私のように日常生活自体が不安定な人にとって、「生活保護」はすごく大切な制度だと思う。

私は薬の影響もあって、通常を通り越して「そう」になることもあり、手元にお金があると使ってしまうので、受給日に銀行へ行き、ライフラインの支払いを済ませ、封筒に「水道代」「町内会費」などと書いて、すべて分けるところから始める。こうしておけば“必要なお金がない”ということだけは避けられる。

家に閉じこもっていた1年で体重がかなり増えてしまった。薬の副作用もあるのだが、ストレスによる食べ過ぎだったこと、閉じこもっていたので運動不足になったことが原因だと思う。そんな時、生活保護の担当者に作業所の存在を教えて頂いた。就労継続支援B型という施設で、主に内職をしている。作業時間は9時から15時30分まで、月に少々給料も出る。本人の出来る作業をするので、無理をしない程度に自分が働いているという実感が持てる。周りの人達も心の病気なのでコミュニケーションも取りやすく、閉じこもっているより楽しい。毎日通うことで生活にもリズムが出来、余程のことが無い限りは、昼夜逆転ということも無くなって来た。最近、市の職員に障害年金の受給を勧められたので、現在手続き中だ。

父母が他界してから、全く料理をする気になれず、しばらくの間は宅食を頼んでいたが、味が合わないものがあったので、今は生協の食材を便利に活用している。お弁当もあるし、レンジを使ったり、軽く焼くだけで食べられるものがたくさんあるので、週2回くらいは定食屋さんで出てくるようなものも食べられる。

昨年から、この病気と一生付き合っていくという決断も出来、今は自助グループに参加しつつ、メンタルヘルス心理士というカウンセラーのお手伝い出来る勉強も始めた。

心の病気は辛いものだ。本人も家族も。でも楽しく生きて行く為の材料はたくさん転がっている。まずは無理せず、ゆったりと話してみたい。道はどこかにつながっている。

～編集後記～

スペースの都合でお休みします。